

# 知恵 知っとこ生活の知恵

暮らしのアドバイス No.109

ファイナンシャル 仲西 康至 (音江町在住)



昨年の10月、タバコ税率が20円引上げられ、人気銘柄の「メビウス」ならば、440円から480円になりました。このタバコ税率の引上げですが、2020年10月に20円、さらに2021年10月に20円と、毎年価格の値上げが予定されています。さすがに、愛煙家の皆さんにとっては、厳しい増税になります。

ちなみに、厚生労働省が2017年に公表した都道府県別の喫煙率によると、最も高いのは北海道の24.7%で、なんと北海道は6回連続の1位です。土地面積の広い北海道では、都市圏と異なり、路上禁煙への対策が遅れています。また、全国チェーンの大型飲食店が少ないことなど、公共の場による受動喫煙防止策も遅れているといわれています。

## タバコ値上げと辞めるための理由



また、男女別での喫煙率をみると、男性は全国4位に対し、女性は全国1位の結果です。女性の喫煙率が高い理由には、仕事を持つ女性が多い（就業率が高い）ことも背景にあるようです。

ところで、タバコを吸う人は、生涯のタバコ代はどれくらいだと思います？たとえば、20歳から80歳まで60年間、1箱480円のたばこを毎日1箱ずつ購入したと仮定します。すると、その試算額は約1050万円にもなります。月額にすると約1万5000円です。これを貯蓄に回したとしたら、どれくらいの金額になるでしょうか。20歳から60歳まで40年間、毎月1万5000円を利息0.1%で積立をすると、60歳になった時には約735万円になります。もしも、毎月1万5000円の貯蓄を、1.0%の利息で運用を出来ると、約885万円にもなります。この試算からも、タバコを吸う人と吸わないで貯蓄する人では、収支で大きな差になります。

さらに、喫煙者は「がん」などの疾病率が上がることは認知されています。当然、病気になると多額の治療費が必要となります。病気になることを考えると、タバコの生涯支出金の1050万円を、他の事に使用するのも考えたくないのではないでしょうか。